

令和8年度 日本大学大学院経済学研究科
博士前期課程 一般(第2期)
【科目名】経営学

問1

ポーターのファイブ・フォース・モデルにおける代替品の脅威とは、異なる産業に属しながらも、顧客にとって同様のニーズを満たす製品・サービスが競合することによって、当該産業の収益性を制約する圧力を指す。たとえば、鉄道による移動に対して航空機は代替関係にあり、移動という同一の目的を異なる手段で達成する。代替品が存在すると、価格を引き上げた際に顧客が代替品へ移行しやすくなるため、企業の価格決定力が低下し、結果として業界全体の利益率が抑えられる。

問2

組織の意思決定における限定的合理性とは、意思決定主体が不完全な情報しか入手できず、また認知能力や時間にも制約があるため、すべての選択肢を網羅的に比較して最適解を選択できないという性質を指す。合理的意思決定モデルでは、完全な情報と無限の計算能力を前提に効用最大化が可能であると想定される。これに対し限定的合理性の下では、主体は一定の基準を満たす解を見つけた時点で意思決定を行う満足化行動をとる点に特徴がある。

以 上